

## 〈博士前期課程〉

## 専門（共通）

問題 1 以下の事例を読み下記の問いに答えなさい。（配点 30）

A さん（58 歳、男性、会社員）は、健康診断で高血糖を指摘され受診した結果、2 型糖尿病と診断され、教育入院となった。医師から糖尿病の病態や合併症について説明を受け、退院後は食事療法と運動療法を継続する必要があることを説明された。

A さんは看護師に対し、「血糖値が高いと言われても、自覚症状がないのであまり実感がない」「父も糖尿病だったが、特に問題なく生活していた」「仕事が忙しいので、退院後も運動や食事療法を続けられるとは思えない」と話している。一方で、「合併症の話を聞くと少し不安になる」「できるだけ健康でいたいとは思っている」とも話している。

- 1) A さんへの支援を検討するうえで有用と考えられる理論またはモデルを 1 つ挙げ、その選択理由を説明しなさい。
- 2) 1) で挙げた理論またはモデルを用いて A さんをアセスメントし、その結果に基づく看護支援について説明しなさい。

問題 2 下記の問いに答えなさい。（配点 10）

- 1) 看護学教育における演習やシミュレーションにおいて「ピア・アセスメント（同僚評価）」を導入する最大の学習効果として、最も適切なものは次のうちどれか、1 つ選びなさい。
  - ① 採点の効率化をはかることができる。
  - ② 自身の看護実践に対するメタ認知や客観的自己評価力を高める。
  - ③ 学生同士の競争意識を煽り、技術のスピードアップをはかる。
  - ④ 正確な成績判定を保証する。
- 2) OSCE（客観的臨床能力試験）において、評価の「信頼性（客観性や一貫性）」を高めるための方法として、最も適切なものは次のうちどれか、1 つ選びなさい。
  - ① 評価者ごとに独自の基準で自由記述式評価を行う。
  - ② 単一のステーション（課題）のみで総合評価を下す。
  - ③ ルーブリック等を導入し、評価者間の事前すり合わせを行う。
  - ④ 評価のバイアスを防ぐため、教員への事前トレーニングは行わない。

問題3 文章を読み、( ) 内に入る適切な語句を、下記の語群から選びなさい。(配点 10)

- 1) 反転授業(Flipped Classroom)は、個人による知識の( ① )と集団による知識の( ② )の場を従来とは逆転させる教育方法である。この設計において、学習者は対面授業の前に、動画視聴やリーディングによって知識の( ① )を主体的に行い、対面授業内で協調学習や演習に臨む。さらに、対面授業を終えた後には、学んだ内容を振り返り、定着や更なる応用をはかるために( ③ )を行う。
- 2) デシとライアン(Deci & Ryan)が提唱した「自己決定理論」では、人間の内発的動機づけを支える基本心理欲求として、( ④ )の欲求、関係性の欲求、そして( ⑤ )の欲求の3つを挙げている。看護学教育において、学習者の主体性を引き出すためには、これら3つの欲求を満たす学習環境のデザインが不可欠である。

【語群】

- |      |      |      |       |       |        |
|------|------|------|-------|-------|--------|
| ・共有  | ・習得  | ・構築  | ・内省   | ・発展学習 | ・自己効力感 |
| ・有能感 | ・自立性 | ・自律性 | ・協調学習 | ・メタ認知 | ・深化    |

問題4 以下の事例を読み下記の問いに答えなさい。(配点 30)

Bさん(84歳、女性)は一人暮らしである。近隣に長女が住んでおり、買い物や通院の支援を受けながら生活していた。軽度認知症があるが、これまで自宅での生活を続けていた。

Bさんは自宅で転倒し、大腿骨頸部骨折のため入院となった。手術後はリハビリテーションを行い、歩行器を使用すれば移動できるまで回復した。医師や理学療法士からは、「住宅環境を整え、介護サービスを利用すれば自宅での生活は可能である」と説明を受けていた。

一方、長女は医療者に対し、「また転倒したら困ります。一人暮らしは危険なので施設に入所してほしい」と話していた。Bさんは看護師に対し、「長年住んできた家に帰りたい。施設には入りたくない」「できることは自分でやりたい」と話していた。

退院前カンファレンスでは、長女の不安やBさんの転倒の危険性についての話し合いが中心となり、Bさんの思いや希望については十分に話し合われないまま、施設入所を前提とした退院調整が進められた。

- 1) 倫理原則を踏まえ、この事例で生じている倫理的問題について説明しなさい。
- 2) Bさんへの退院支援を行ううえで、看護師は何を確認し、どのように支援すべきか述べなさい。

問題 5 次の研究目的について、以下の問いに答えなさい。(配点 20)

研究 A：患者が退院後の生活で経験する困難とその対処を明らかにしたい。

- 1) 研究 A に適した研究アプローチ（質的研究または量的研究）を答え、その理由について簡潔に述べなさい。
- 2) 研究 A に最も適したデータ収集方法を 1 つ挙げ、その方法を選択した理由を簡潔に述べなさい。